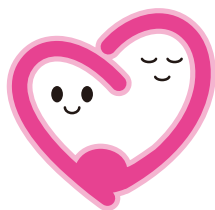


シンボルマーク「こころっぴー」



ニュースレター
vol.32

岐阜県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 ぎふ犯罪被害者支援センター

こころの輪

岐阜県における性犯罪被害者支援センター事業 (ワンストップ支援センター)の今後の問題点について

岐阜県産婦人科医会 宮崎 千恵



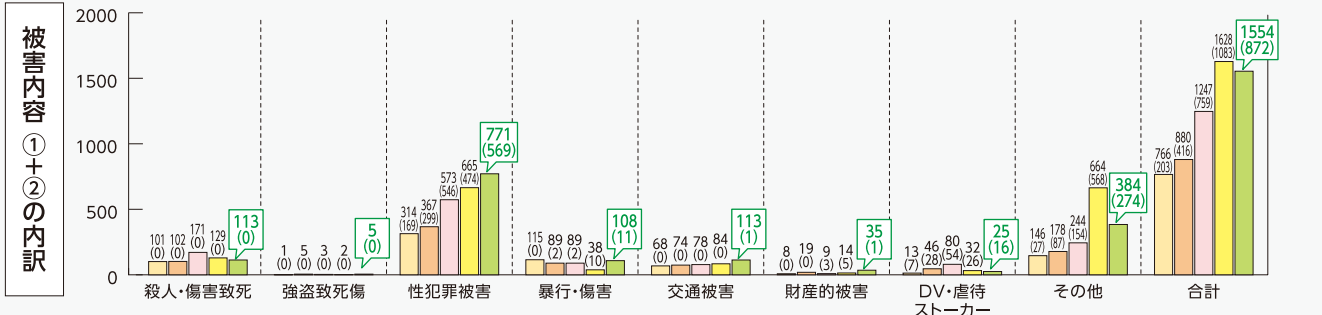
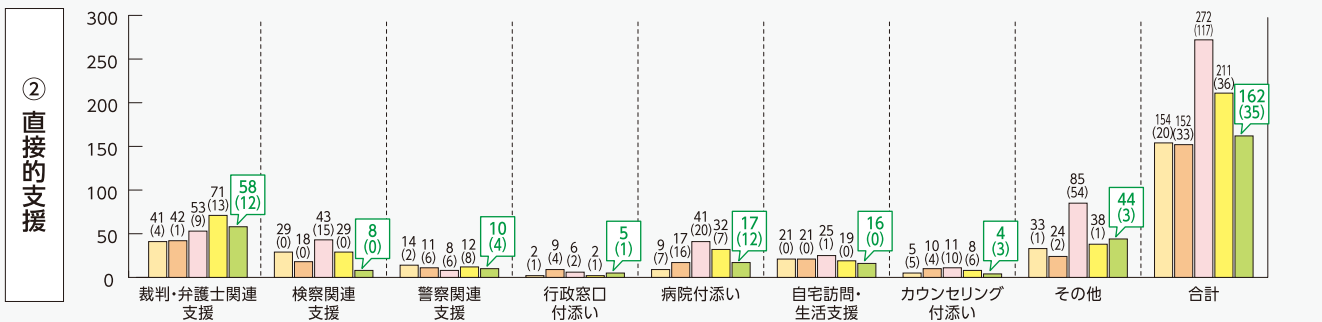
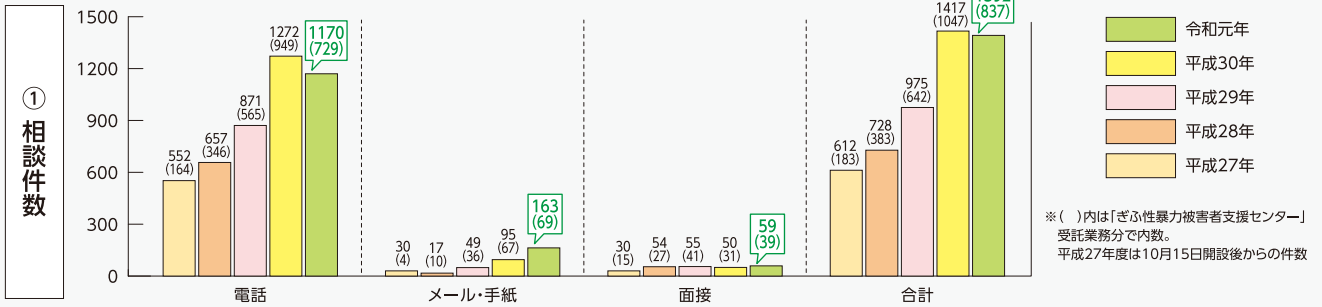
ぎふ犯罪被害者支援センターの活動は、平成16年開設以来16年間、その活動を継続し、大変充実した成果を上げておられることは、岐阜県民の一人として、大変喜ばしい事と思います。また、平成27年度より、岐阜県庁子ども家庭課内に、性犯罪被害者支援事業(ワンストップ支援センター)が設けられ、その事業内容も大変充実した内容で継続しております。私も医療従事者として、この事業の開設準備時より関わらせていただきましたが、年間約800件程度の相談件数にのぼり、医療的支援(支援員登録者31名)精神的支援、弁護士相談など、継続して成果を上げて来られたのも、関連各部門のチームワークの良さだと思えます。

性犯罪被害は、一般の犯罪と同様に刑事事件として、加害者を訴追するのみならず、その被害者達の事後のトラウマなど、その人達の一生抱える問題となるケースも多く、こうした人たちに、事件発祥当初より、支援員が共に寄り添って支えていく活動が、まさにこの支援センターの重要な役割であります。

岐阜県において、こうした事業に携わる方は、仕事としてのみならず、本当に自身の問題であるかのよう、ほとんどボランティア精神で携わっておられる方々があつての事と、感謝しております。

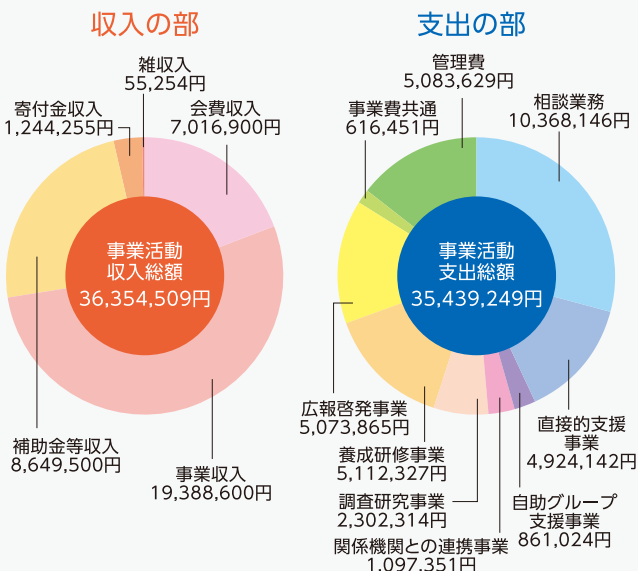
また今年は、1月末頃より、コロナウイルスの世界的感染拡大が発生し、国民は、感染症という肉体的な病気のみならず、岐阜県においても、4月に発令された緊急事態宣言以来、約3ヶ月間の自宅自粛生活という耐えがたい状況を余儀なくされていますが、こうした事態において、従来の性犯罪の被害形態に色々な変化があり、その相談件数は、若干減少傾向にあります。逆に家庭内に引きこもることによって起こる、精神的な抑鬱状態から、身近な人への虐待問題も今後増加してくるのではないかと危惧いたしておりますが、こうした事も踏まえて、より一層頑張っ参りたいと存じますので、今後とも、皆様の一層のご協力をよろしくお願いいたします。

ぎふ犯罪被害者支援センター 令和元年度活動報告

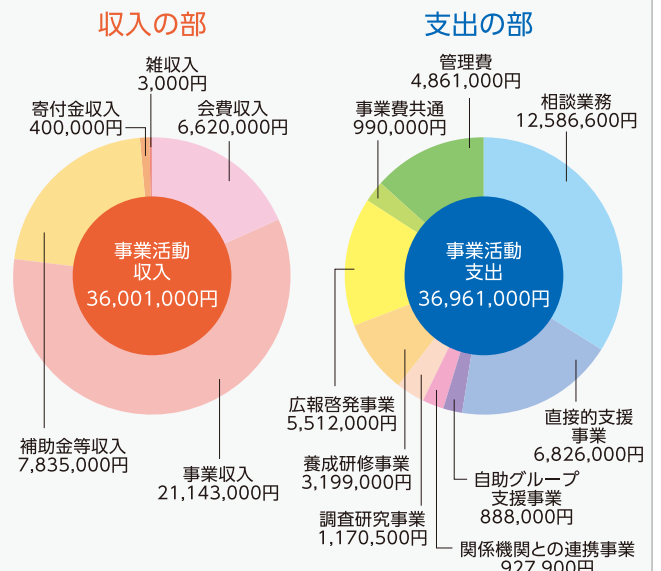


- 自助グループ定例会の開催 12回
- 関係機関・団体との連携 34回 (会議等への出席、講師派遣)
- 支援員研修 外部研修への参加 20回 継続研修・事例検討会 17回 第9期養成講座・実地研修 9回
- 広報啓発活動 街頭活動等 15回 講演会 3回 ホンデリング活動 15回
- 会議の開催 総会 1回 理事会 4回 (書面決議を含む) 運営委員会 5回

令和元年度収支決算報告



令和2年度収支予算





令和2年度定時総会の開催

令和2年6月11日(木)、岐阜県農協会館にて令和2年度定時総会を開催しました。令和元年度の事業報告・収支決算報告及び役員を選任について審議され、いずれも承認されました。本年度は、岐阜県策定の「コロナ社会を生き抜く行動指針」に基づき、人との距離の確保、マスクの着用、換気の徹底等、新型コロナウイルス感染対策を講じての開催となりました。



総会に先立ち、犯罪被害者支援にご尽力いただいた2名及び2団体の方々の表彰を行いました。(敬称略)



**岐阜県警察本部長・
ぎふ犯罪被害者支援センター
理事長連盟表彰**

犯罪被害者支援功労職員表彰
瀧戸八起

犯罪被害者支援功労者表彰
山田邦明

ぎふ犯罪被害者支援センター理事長感謝状

岐阜県農業協同組合中央会
一般社団法人 岐阜県警備業協会

新役員名簿		令和2年8月1日現在
理事長	鈴木 雅雄	前岐阜県弁護士会長
副理事長 (五十音順)	寺田 道夫	東海学院大学客員教授 臨床心理士
	廣瀬 玲子	産婦人科医
専務理事	田口由紀男	ぎふ犯罪被害者支援センター事務局長
理事 (五十音順)	川出 靖彦	岐阜県医師会顧問
	桐山 圭司	岐阜新聞社常務取締役
	酒井 史朗	岐阜県交通安全協会専務理事
	杉田 憲夫	精神科医
	出口満知子	岐阜県保護司会連合会副会長
	西田 正幸	岐阜県人権擁護委員連合会副会長
	林 直康	岐阜社会福祉事業協力会理事長
	松井 克幸	犯罪被害者遺族代表
	松波 英寿	ライオンズクラブ国際協会334-B地区名誉顧問
	和田 恵	日本司法支援センター岐阜事務所副所長
監事 (五十音順)	安藤 正弘	岐阜県経営者協会専務理事
	大石 英博	税理士
顧問	古田 肇	岐阜県知事
	奥野 省吾	岐阜県警察本部長
	蔭山 英順	名古屋大学名誉教授・日本福祉大学名誉教授
	森川 士朗	元岐阜県臨床心理士会長
参与	前田 寛徳	岐阜県環境生活部県民生活課長
	松浦 宏昭	岐阜県警察本部総務室広報県民課長

理事会の開催



令和2年3月12日(木)、OKBふれあい会館にて令和元年度第4回理事会を開催しました。令和2年度事業計画・収支予算等を審議し、いずれも承認されました。令和2年度第1回理事会を书面決議で行いました。

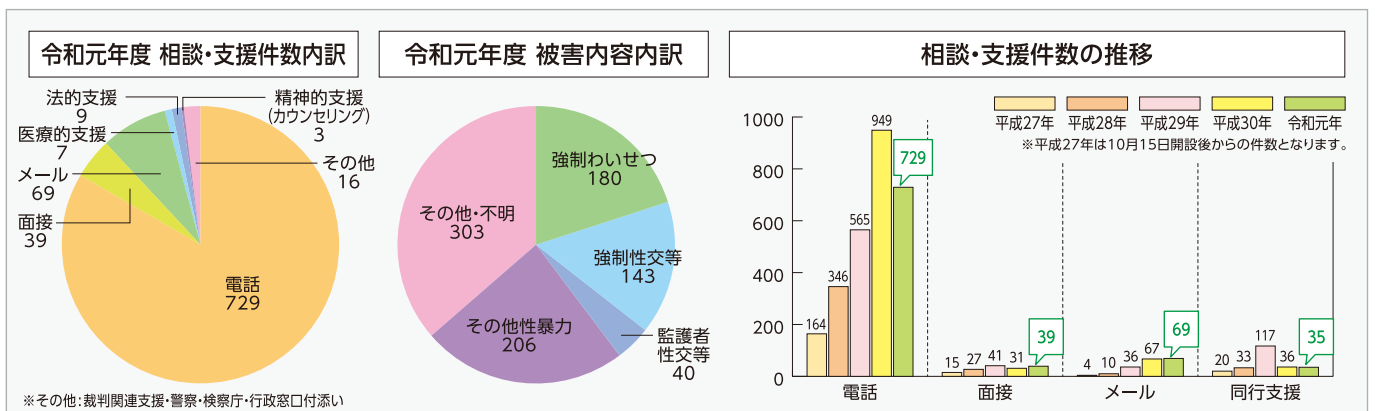
就任あいさつ



専務理事兼事務局長
田口由紀男

平成26年に警察本部を定年退職し、6年間保険代理店に勤め、今年4月から事務局長として勤務しています。まだ4か月程ですが、被害者支援の現場の一端を知るにつけ、その大切さと難しさを実感しています。そして、支援センターが、沢山の人や様々な団体・機関の善意や協力があるからこそ、成り立っているということ改めて痛感しています。関係される多くの方々、各方面の皆さんに、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。被害者支援のバックヤードとして、精一杯勤めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ぎふ性暴力被害者支援センター 令和元年度活動報告 合計872件



支援活動員の声

性暴力被害者支援専門看護師(SANE)の認定を受けて

●SANEとは

Sexual Assault Nurse Examinerの略称。医療現場での二次被害を防ぐために、1976年からアメリカで広まった専門職です。養成プログラムでは、性暴力被害にあった人の医療ケアに関する専門的知識を学びます。



中日新聞 令和2年6月18日付

令和2年1月に性暴力被害者支援専門看護師の養成プログラム研修を終え、SANE認定を取得することが出来ました。これは、ぎふ犯罪被害者支援センターの多大なるご協力のお陰です。心から感謝申し上げます。

今後は、生活環境を整え、自分の専門性を生かし、できる限り長期に被害者に寄り添った活動が行えるよう自己研鑽にも努めていく所存です。

今後変わらぬ、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

7期生 T.M.

この度、女性の安全と健康のための支援者セミナーにおいてSANEコースを終了しました。

以前にもまして性暴力被害者への支援の大切さや難しさを痛感しています。

医療従事者として、フィジカルなサポートがしやすいことをベースにしてメンタルな部分のサポートができるようになればいいと思います。できれば一人でも多くの方がサバイバーになって、残りの人生を自分らしく生きていかれることを願って支援活動をしていきたいと思っています。

7期生 S.T.

移動相談5周年を迎えて

●移動相談とは

センター(岐阜市)から遠方地の相談対応のため、日本財団の助成を受け面接ができる相談車を整備し、多治見市役所で毎月第2水曜日、高山市役所で毎月第4水曜日、各日とも午前11時～午後3時まで相談を受けています(予約もできます)。



遠隔地(高山)における移動相談は、実施から5年が経過しました。

高山へは片道約3時間と時間も要し、犯罪被害者にとっては精神的にも、肉体的にも大きな負担となり、待っていることなくこちらから出向いて相談業務を行う事を主に実施されているが、移動相談そのものの認知度が低いのか、年に数件の相談にとどまっています。

その相談内容は、例えば警察からは何も連絡が無く困っている場合などは、高山警察署へ直接出向くなどの出来る限りの対応を行ってきたこともあり、それなりの成果があったと感じます。

5期生 Y.N.

毎月、第2水曜日11:00～15:00、多治見市役所で移動相談を実施しています。

東濃地区在住の方で、不安なこと、悩んでいる事、聞いて欲しいことがありましたら、相談員に話してください。これまでに「直接会って話すことで気持ちが共有できたという安心感が得られた」という感想をいただいています。相談内容が外部に漏れることは一切ありません。秘密は守られます。安心してご相談ください。

6期生 S.H.

相談員研修生の声

非常勤で事務局の業務にも携われています。多趣味で個性豊かなお二人です。



本年度も学ぶ機会を与えて頂きました。去年は右往左往失敗の連続でしたが、今年も様々な経験の中で学んでいます。「失敗から学んでいきましょう。焦らずにね。」という先輩方の励ましに幾度も助けられました。今年は早々にコロナウイルス対策で各種イベント、研修は中止となりました。それでも相談支援は耐えることはありません。犯罪被害、性暴力という大難に遭われた方々に少しでも寄り添える支援員になるため研鑽していくことが、機会を与えて頂いた事に報いるのではないかと考えています。

8期生 O.R.

研修生といえば、夢見るハツラツとした青年をみなさんは思い浮かべるでしょうが、私は、定年過ぎの普通のおじさんです。でも心は少年! 何にでも興味津々で、色々なことにチャレンジして、毎日を楽しみ過ぎていました。縁は不思議なもので4月から研修生として事務局でお世話になっています。諸先輩方から叱咤激励の毎日ですが、これも犯罪被害者支援という志高い山の頂に至る、一步一步であると、噛みしめて頑張っています。

9期生 M.J.



センター活動報告 (令和2年1月~6月)

★新型コロナウイルス感染対策として中止となった行事

研修

<内部研修>

- 支援活動員中級研修
1/10、1/17、2/7、3/6★
4/3★、5/1★、6/5★



- 直接支援研修 3/13★
- 犯罪被害相談員研修 2/13
- 支援活動員第9期生初級研修 1/10、2/7、3/6★

<外部研修>

- 障がい者110番研修会(各務原市) 2/1
- 全国被害者支援ネットワーク
東海・北陸ブロック 質の向上研修下半期(岐阜市) 3/7~3/8★
- 【性暴力】内閣府医療関係者研修 1/9
- 【性暴力】朝日大学公開講座
「未成年の性的搾取や性被害について」 1/15
- 【性暴力】岐阜市医師会・性教育セミナー 1/16
- 【性暴力】令和元年度内閣府(性犯罪被害者等支援体制整備
促進事業)相談員研修(大阪) 1/23~1/24
- 【性暴力】女性の安全と健康のための支援研修(東京) 2/8~2/9
- 【性暴力】チャイルドファーストジャパン
RIFCR研修(名古屋) 3/14

移動相談

- 多治見市役所 1/8、2/12、3/11、4/8、5/13、6/10
- 高山市役所 1/22、2/26、3/25★、4/22★、5/27★

会議の開催

<支援センター>

- 運営委員会 2/27、4/16★
- 理事会 3/12、5/21(書面決議)
- 定時総会 6/11



<関係機関・団体>

- 令和元年度第3回岐阜市人権教育・啓発推進協議会 1/31
- 犯罪被害者支援条例に関する勉強会(県警) 2/4
- 第16回犯罪被害者支援協議会(検察庁) 2/6
- 【性暴力】ぎふ性暴力支援センター医療部門
担当者連絡協議会(岐阜市) 2/20
- 【性暴力】性暴力被害者支援に関する県警との協議 5/28

講師派遣

- 名古屋市中村生涯学習センター講座 1/20
- 高齢者交通安全大学校
交通安全講演会(七宗町) 1/29
- NPO法人犯罪被害当事者ネットワーク
緒あしす主催 2019年度犯罪被害者
支援企画「いのちかなでるin岐阜」
(ハートフルスクエアG) 2/21



自助グループ関係

- 定例会 1/21、2/18、3/17、4/21★、5/19★、6/16★

広報・啓発活動

- 岐阜市犯罪被害者支援
条例施行にともなう
JR岐阜駅街頭広報 1/14
- 岐阜市役所1階ロビー
「緒あしす いのちかなでる」パネル展 1/14
- 岐阜市役所1階ロビー
ホンデリング活動 1/14
- 県警音楽隊演奏会
ミニ生命のメッセージ展
(不二羽島文化センター) 1/18
- 性暴力被害者支援講演会
講師：早川恵子さん 2/18
- イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
(イオン各務原店) 1/11、2/11



その他

- 公益社団法人の認定等に関する岐阜県立入検査 1/20
- 犯罪被害者支援の条例制定に関する知事説明 1/21
- 鳥取県性暴力被害者支援協議会から視察 2/19
- 命の大切さを学ぶ授業
(岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校) 6/18

マスクを寄贈いただきました

NPOつなぐプロジェクト様 4/18 三輪南自治会連合会様 4/20



新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、2月末から6月末にかけて、支援員研修、自助グループの定例会、講演会等のイベントを中止いたしました。相談事業では、3密の状況をつくらないように、相談員の人数を制限し、面接を行う際も、マスク・消毒液など、感染対策を徹底しました。



「犯罪被害者支援講演会2020」



日時 令和2年11月26日(木) 13:30～(予定)

場所 みんなの森 ぎふメディアコスモス
みんなのホール
岐阜市司町40番地5

講師 加藤 裕司 さん(犯罪被害者ご遺族)

〈お問い合わせ〉公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センター
〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番12号 シンクタンク庁舎
Tel 058-275-3933(月～金 9:30～16:30)(祝日・年末年始を除く)
※詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせします。
※新型コロナウイルス感染防止のため、状況によって中止する場合があります。

支援センターの事業運営

当センターの活動は、皆様からの賛助会費や寄付金等によって支えられています。支援の輪を広げるために、皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。賛助会費及び寄付金は、「特定寄付金」として、税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくは、支援センター事務局(058-275-3933)にお問い合わせください。

年会費	
個人	法人・団体
1口 3,000円	1口 5,000円
寄付金 随時受け付けております。	

入会申し込みありがとうございます

令和2年1月～6月(順不同・敬称略)

<正会員> 森本淳 岸政利 祖父江典子 中村佳代子
松野渉 蒲誠治 大賀由貴子

<賛助会員> 森本久司 糸井川晃 野々村嘉也

その他、「イオン黄色いレシートキャンペーン」や「ホンデリング(本の寄贈)」で多くの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。



ホンデリング



～本で広がる支援の輪～

「ホンデリング」とは皆様から本をご寄贈いただき、その売却代金を寄付として頂戴し、センターの活動に役立てるというプロジェクトです。よろしくお願いたします。

申し込みはたったの3ステップ!

- 1 専用の申込用紙をつけて5冊以上の古本やCDを段ボール箱に詰める。
- 2 webサイト「チャリボン」を検索。こちらのサイトの「本で寄付する」からお申し込みください。
支援先: 全国被害者支援ネットワーク 個別コード: N10
※現在、新型コロナウイルス感染防止のため電話でのお申し込みができません。
- 3 宅配業者がご指定の日時に集荷に伺います。

発送費用は不要です(着払い)。詳細はセンター事務局までお問い合わせください。

相談無料

秘密厳守

一人にはならない、させない支援の手

ひとりで悩まず、
お電話ください

ぎふ犯罪被害者支援センター

☎ 0120-968-783
☎ 058-268-8700

電話相談

月～金 10時～16時まで(祝日・年末年始を除く)
※上記以外の時間
全国共通ナビダイヤル
(通話料がかかります) 0570-783-554
7時30分～22時(12/29～1/3除く)

メール相談

ホームページの
相談専用フォームから ⇒⇒



面接相談

月～金 10時～16時まで(祝日・年末年始を除く)
※予約制

移動相談

多治見市役所 毎月第2水曜日 11時～15時
高山市役所 毎月第4水曜日 11時～15時
※予約もできます

ぎふ性暴力被害者支援センター

平成27年10月開設。
運営は、岐阜県が(公社)ぎふ犯罪被害者支援センターに委託しています。

電話相談

24時間ホットライン やさしく
☎ 058-215-8349

毎月第2・第4火曜日の16時～20時は、
男性相談員も待機しています。

メール相談

ホームページの
相談専用フォームから ⇒⇒



面接相談

月～金 10時～16時まで(祝日・年末年始を除く)
※予約制
◇被害直後の急性期診療の同行支援は
24時間・365日対応

シンボルマーク「こころっぴー」

